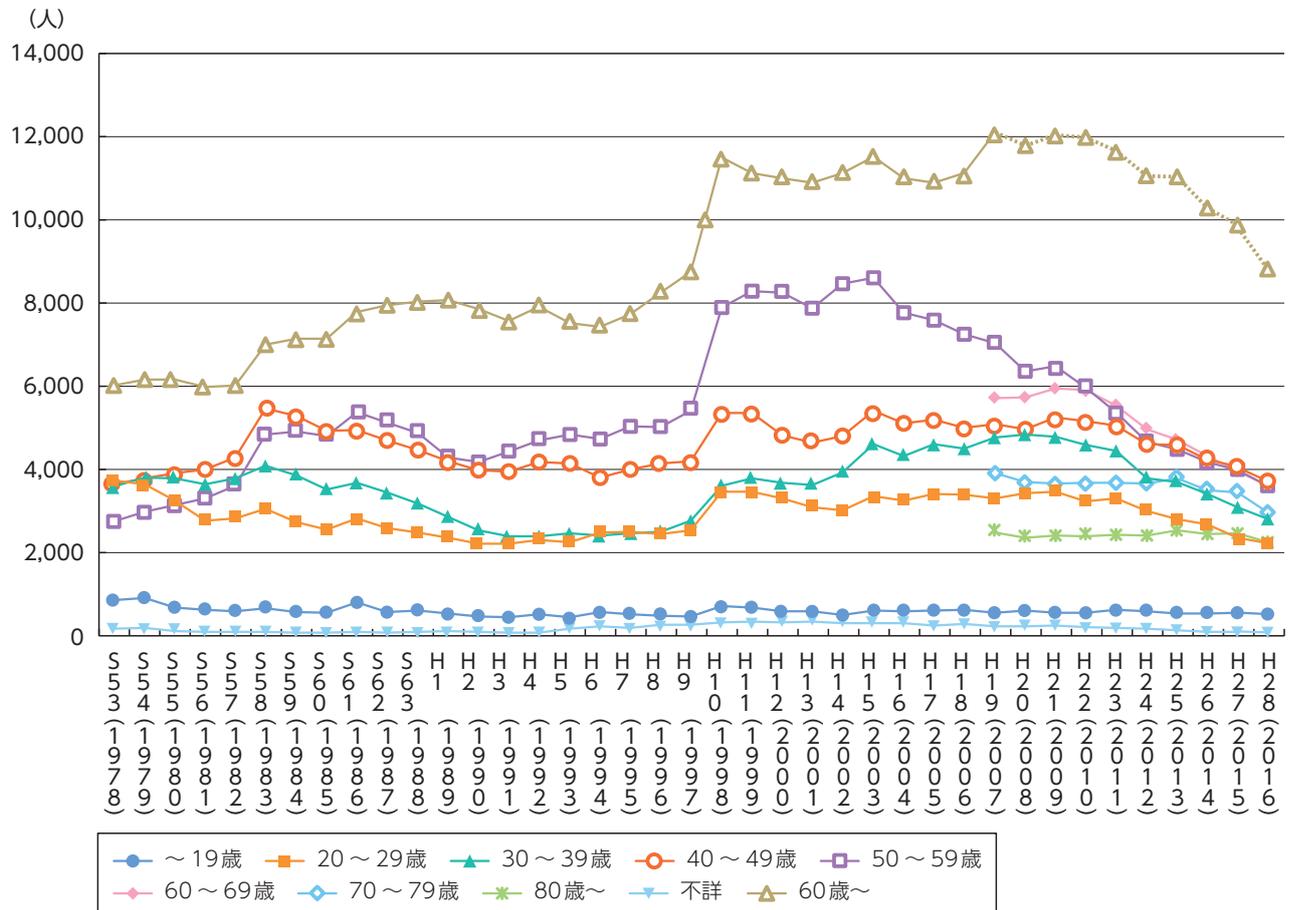


### 3 年齢階級別の自殺者数の推移

○50歳代は平成15年を境に減少傾向にあり、ここ数年は60歳代から20歳代までの各年齢階級も減少傾向にある。

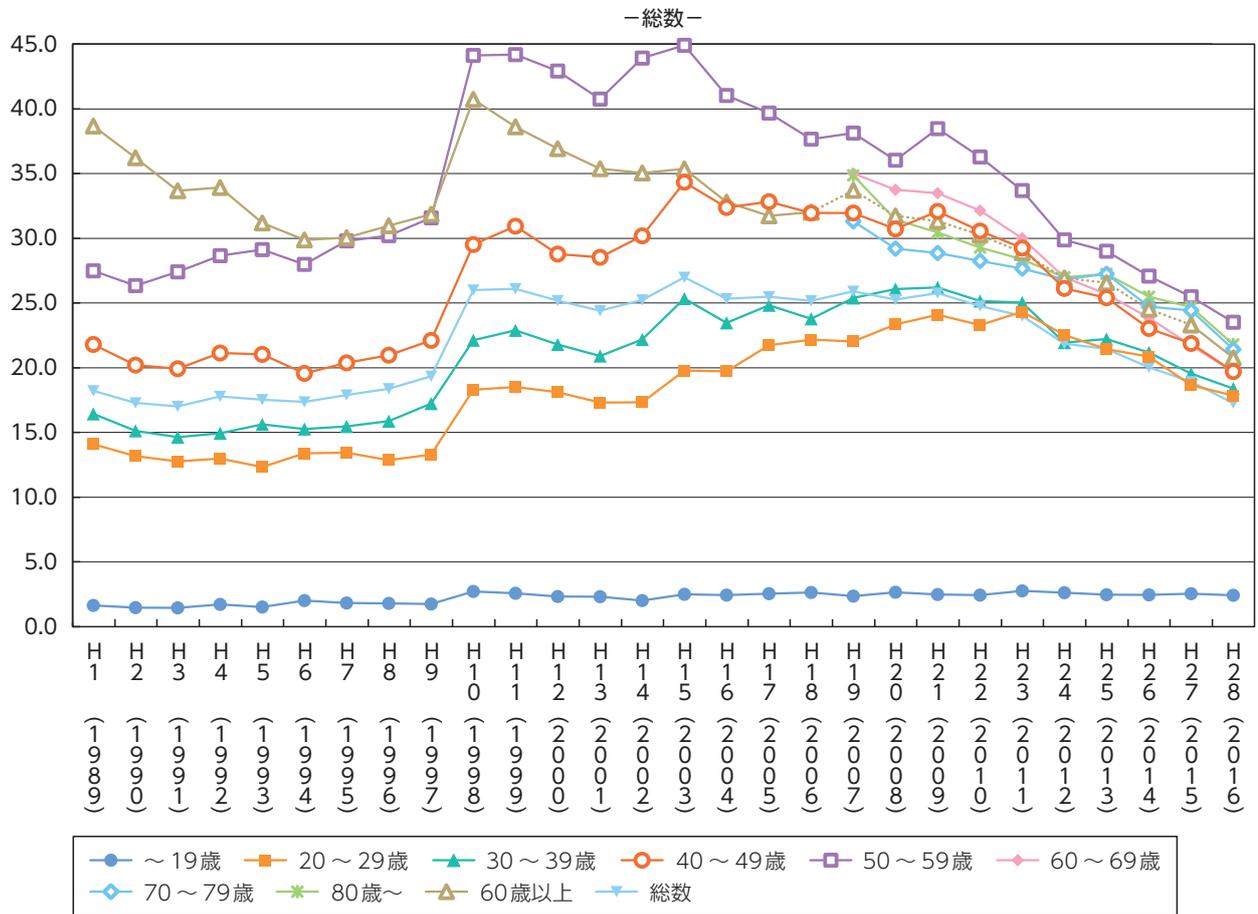
第1-7図 年齢階級別（10歳階級）の自殺者数の推移



注) 平成18年までは「60歳以上」だが、19年の自殺統計原票改正以降は「60～69歳」「70～79歳」「80歳以上」に細分化された。  
資料：警察庁「自殺統計」より厚生労働省自殺対策推進室作成

○年齢階級別の自殺死亡率の推移をみると、40歳代以上で低下傾向にあり、特にここ数年は20歳代、30歳代も低下傾向にある。

**第1-8図 年齢階級別の自殺死亡率の推移**



注) 平成18年までは「60歳以上」だが、19年の自殺統計原票改正以降は「60~69歳」「70~79歳」「80歳以上」に細分化された。  
資料：警察庁「自殺統計」、総務省「国勢調査」及び総務省「人口推計」より厚生労働省自殺対策推進室作成

○我が国における若い世代の自殺は深刻な状況にあり、15～39歳の各年代の死因の第1位は自殺となっている。こうした状況は国際的にみても深刻であり、15～34歳の若い世代で死因の第1位が自殺となっているのは先進国では日本のみで、その死亡率も他の国に比べて高いものとなっている。

第1-9表 平成27年における死因順位別にみた年齢階級・性別死亡数・死亡率・構成割合

総数

年齢階級	第1位				第2位				第3位			
	死因	死亡数	死亡率	割合(%)	死因	死亡数	死亡率	割合(%)	死因	死亡数	死亡率	割合(%)
10～14歳	悪性新生物	107	1.9	22.8	自殺	89	1.6	18.9	不慮の事故	74	1.3	15.7
15～19歳	自殺	447	7.5	36.6	不慮の事故	288	4.8	23.6	悪性新生物	147	2.5	12.0
20～24歳	自殺	1,052	17.9	50.1	不慮の事故	365	6.2	17.4	悪性新生物	176	3.0	8.4
25～29歳	自殺	1,234	19.6	47.2	悪性新生物	323	5.1	12.3	不慮の事故	301	4.8	11.5
30～34歳	自殺	1,398	19.5	39.4	悪性新生物	654	9.1	18.4	不慮の事故	356	5.0	10.0
35～39歳	自殺	1,573	19.1	29.1	悪性新生物	1,284	15.6	23.8	心疾患	514	6.2	9.5
40～44歳	悪性新生物	2,848	29.4	29.2	自殺	1,984	20.5	20.3	心疾患	1,142	11.8	11.7
45～49歳	悪性新生物	4,519	52.4	33.4	自殺	1,965	22.8	14.5	心疾患	1,750	20.3	12.9
50～54歳	悪性新生物	7,764	98.2	39.4	心疾患	2,550	32.2	12.9	自殺	2,008	25.4	10.2
55～59歳	悪性新生物	13,123	174.5	45.7	心疾患	3,425	45.5	11.9	脳血管疾患	2,171	28.9	7.6
60～64歳	悪性新生物	25,325	298.3	48.5	心疾患	6,404	75.4	12.3	脳血管疾患	3,632	42.8	7.0

男

年齢階級	第1位				第2位				第3位			
	死因	死亡数	死亡率	割合(%)	死因	死亡数	死亡率	割合(%)	死因	死亡数	死亡率	割合(%)
10～14歳	自殺	61	2.1	22.8	不慮の事故	53	1.9	19.9	悪性新生物	52	1.8	19.5
15～19歳	自殺	310	10.1	37.1	不慮の事故	231	7.5	27.6	悪性新生物	86	2.8	10.3
20～24歳	自殺	781	25.9	51.6	不慮の事故	294	9.8	19.4	悪性新生物	112	3.7	7.4
25～29歳	自殺	914	28.5	51.2	不慮の事故	238	7.4	13.3	悪性新生物	153	4.8	8.6
30～34歳	自殺	1,034	28.3	44.5	不慮の事故	272	7.4	11.7	悪性新生物	260	7.1	11.2
35～39歳	自殺	1,163	27.7	33.7	悪性新生物	521	12.4	15.1	心疾患	403	9.6	11.7
40～44歳	自殺	1,459	29.6	23.5	悪性新生物	1,225	24.9	19.7	心疾患	904	18.4	14.5
45～49歳	悪性新生物	2,035	46.6	23.5	自殺	1,410	32.3	16.3	心疾患	1,384	31.7	16.0
50～54歳	悪性新生物	3,923	98.5	30.6	心疾患	2,028	50.9	15.8	自殺	1,474	37.0	11.5
55～59歳	悪性新生物	7,622	203.3	39.2	心疾患	2,761	73.6	14.2	脳血管疾患	1,561	41.6	8.0
60～64歳	悪性新生物	16,179	386.9	44.8	心疾患	5,036	120.4	13.9	脳血管疾患	2,586	61.8	7.2

女

年齢階級	第1位				第2位				第3位			
	死因	死亡数	死亡率	割合(%)	死因	死亡数	死亡率	割合(%)	死因	死亡数	死亡率	割合(%)
10～14歳	悪性新生物	55	2.0	27.1	自殺	28	1.0	13.8	不慮の事故	21	0.8	10.3
15～19歳	自殺	137	4.7	35.7	悪性新生物	61	2.1	15.9	不慮の事故	57	2.0	14.8
20～24歳	自殺	271	9.4	46.2	不慮の事故	71	2.5	12.1	悪性新生物	64	2.2	10.9
25～29歳	自殺	320	10.4	38.6	悪性新生物	170	5.5	20.5	不慮の事故	63	2.0	7.6
30～34歳	悪性新生物	394	11.2	32.2	自殺	364	10.3	29.7	不慮の事故	84	2.4	6.9
35～39歳	悪性新生物	763	18.9	39.2	自殺	410	10.1	21.1	心疾患	111	2.7	5.7
40～44歳	悪性新生物	1,623	34.1	45.6	自殺	525	11.0	14.8	脳血管疾患	252	5.3	7.1
45～49歳	悪性新生物	2,484	58.4	50.9	自殺	555	13.0	11.4	脳血管疾患	368	8.7	7.5
50～54歳	悪性新生物	3,841	97.8	55.8	自殺	534	13.6	7.8	心疾患	522	13.3	7.6
55～59歳	悪性新生物	5,501	145.9	59.3	心疾患	664	17.6	7.2	脳血管疾患	610	16.2	6.6
60～64歳	悪性新生物	9,146	212.3	56.9	心疾患	1,368	31.8	8.5	脳血管疾患	1,046	24.3	6.5

注) 構成割合は、それぞれの年齢階級別死亡数を100とした場合の割合である。

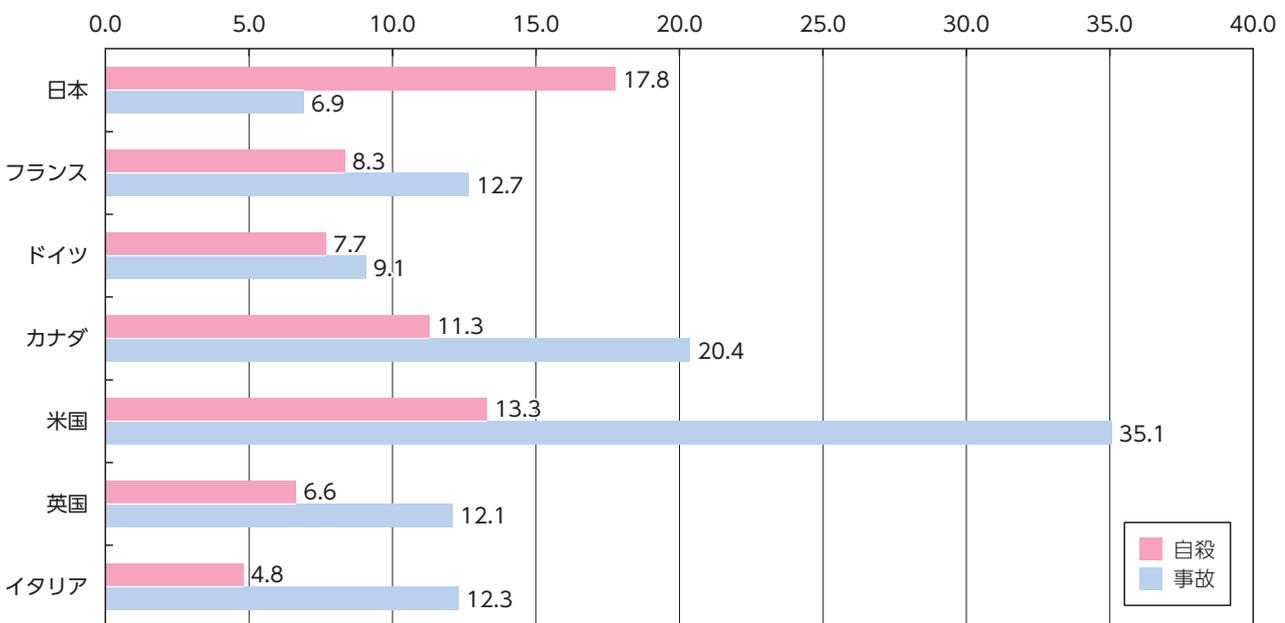
資料：厚生労働省「人口動態統計」より厚生労働省自殺対策推進室作成

## 第1-10図 先進国の年齢階級別死亡者数及び死亡率（15～34歳、死因の上位3位）

	日本 2014				フランス 2013				ドイツ 2014				カナダ 2012			
	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	
第1位	自殺	4,557	17.8	事故	1,955	12.7	事故	1,710	9.1	事故	1,924	20.4	事故	1,066	11.3	
第2位	事故	1,775	6.9	自殺	1,286	8.3	自殺	1,450	7.7	自殺	1,066	11.3	自殺	528	5.6	
第3位	悪性新生物	1,339	5.2	R00-R99*	1,089	7.1	悪性新生物	981	5.2	悪性新生物	528	5.6	悪性新生物			

	米国 2014				英国 2013				イタリア 2012				韓国（参考） 2013			
	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	
第1位	事故	30,708	35.1	事故	2,038	12.1	事故	1,589	12.3	自殺	2,580	18.3	自殺	1,225	8.7	
第2位	自殺	11,648	13.3	自殺	1,120	6.6	悪性新生物	889	6.9	事故	1,225	8.7	事故	874	6.2	
第3位	殺人	8,303	9.5	悪性新生物	1,070	6.3	自殺	620	4.8	悪性新生物	874	6.2	悪性新生物			

※ICD-10（疾病及び関連保健問題の国際統計分類の第10回修正版）の第18章「症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの」に該当するもの



注意：「死亡率」とは、人口10万人当たりの死亡者をいう。

資料：世界保健機関資料より厚生労働省自殺対策推進室作成